

かにカツプ大いに沸く

テニストーナメントが新趣向で

紋別テニス協会（服部昌男会長）が主催する第十四回紋別かにカツプ98テニストーナメントが六日、紋別市運動公園で開かれた。遠軽、旭川、稚内など全道各地からダブルス二十ハチーム（このうち紋別勢十四チーム）五十二人の選手が参加、熱戦を繰り広げた。これまで「オホーツクテニス大会」の名で親しまれてきた同大会、道内各地から選手が集まる大きな大会だけに、よりオホーツク色を出そうと今年から「かにカツプ」の名を冠しての再

出発となった。入賞者に贈られる景品も全て「紋別産のカニ」を用意。まさに「看板に偽りなし」の「かに争奪大会」となった。

曇り空ながら天候もまずまずとなったこの日、男子の部、女子の部に分かれて白熱の試合が続いた。男子の部では旭川の菅野・中村ペアが下馬評通りの圧倒的な強さで優勝した。同ペアは北海道四十歳以上の部で一位の強豪。

この厚い壁に挑戦した紋別勢だが、準決勝で当たった田中・岩沢ペアは8-2、決勝で当たった千葉・服部は8-3で、それぞれ涙を飲んだ。

優勝した菅野・中村ペアは「紋別勢の実力は大了もの。」

入賞した男女の各チーム。賞品のかにを手に



千葉さんのストロークは金道レベルでも通用しますね」とエール。「紋

別産のカニは旭川で待つ家族のいいお土産になりました」と笑顔を見せていた。一方、女子は矢口・広瀬ペア（旭川）が安定した強さで優勝。男女ともに旭川勢の実力が目立った大会となった。服部会長は「賞品の評判もよく盛会のうちに終わってホッとしています。強豪揃いで、我々もいい勉強になりました」と話していた。

成績は次の通り。

- ▽男子の部①菅野・中村（旭川）②千葉・服部（紋別）③田中・岩沢（紋別）▽女子の部①矢口・広瀬（旭川）②田中・村上（遠軽）③北野・湯浅（佐呂間）